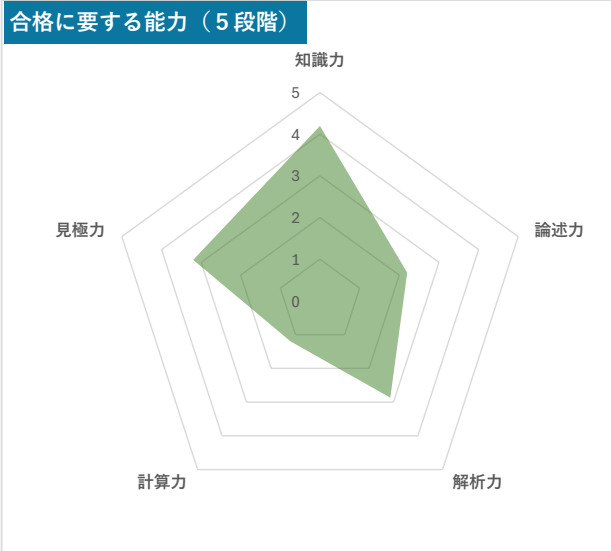


総合分析

試験区分	一般 (後期)		
制限時間	60分 (理科 2科120分)	大問数	全 3 問



出題分野

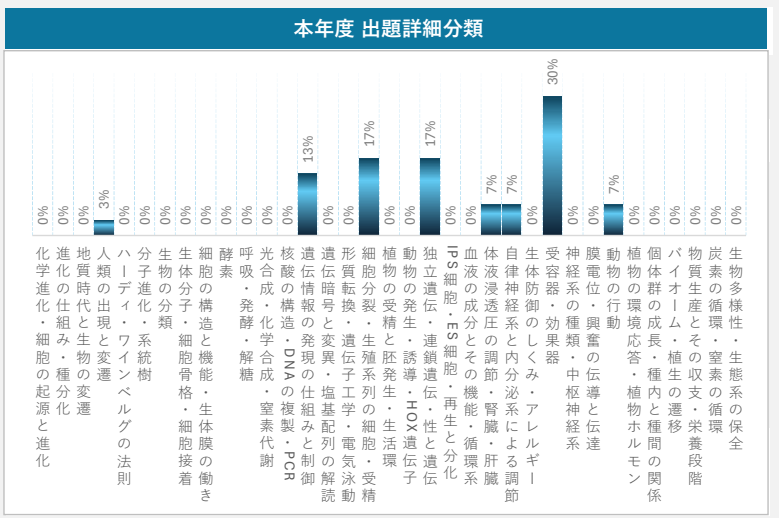
系統と進化	3%
生命現象と物質	0%
遺伝子	13%
生殖と発生	33%
生物の環境応答	50%
生態	0%

本年度出題テーマ一覧

第 1 問	減数分裂・遺伝の法則
第 2 問	筋肉の構造と機能
第 3 問	バソプレシンと保育行動

本年度 解答形式

穴埋め記述	100%
-------	------



合格に要する能力 (5段階)

能力	スコア	説明
知識力	4.0	出題分野の幅広い知識を有するか
論述力	2.0	設問の指定に沿って的確に記述するか
解析力	2.7	図表データなどから分析・解析するか
計算力	1.0	式を組み立て、正しく計算するか
見極力	3.0	難度を判断し、適切に時間配分するか

特殊問題の有無

数理生物学なし	生物物理なし	ノーベル賞なし	範囲外問題なし	長文論述なし
---------	--------	---------	---------	--------

特記事項

特になし

総合評価

難度	2.4	最難を5とする問題自体の難度	やや易しい	一次合格に必要な正答率 (予想)	68%
分量	60分	完答に要する時間 (制限時間は60分)	標準		標準

入試の特徴と対策

標準的なバランスのよい問題で、高校での学習で十分に対応できる。

入試から見る 大学が求める学生像

出題の内容はほとんどが標準的な内容であるが、最新の知見をベースにした考察問題も出題されている。まずは基礎的な知識を充実させる必要があるが、それだけでなく、新しいテーマ、なじみのない文章であろうとそこに立ち向かえる気質が求められている。